

ごあいさつ

日頃からみなさまの温かいご支援に支えていただき、今年は2期目最後の年のとなります。これまで、地域を廻らせていただき、みなさまの小さな声を直接お聴きし、ひとつひとつ形にと市政へ訴えてまいりました。その中で、様々実現へとつなげることができましたことに、感謝申し上げます。今後もさらに精進し、驕ることなく真剣に誠意を持って動いて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

遠藤 光博

# 地域共生社会に向けて

平成30年12月第4回定例会一般質問での質問と答弁の要旨

## 地域包括ケアの強化を！

質問：第7期高齢者福祉計画の施策目標に地域共生社会の促進とある、これまでも他職種等との連携をと訴えてきたが地域で活動する市民との連携は。

答弁：今後も個別ケースの課題や地域生活課題など「我が事」ととらえ、関係機関、各種専門多職種、市民活動団体等との連携を図り「丸ごと」として対応し、地域共生社会の推進に取り組んでまいります。



## 多文化共生の社会へ！

質問：今後増えてくるであろう外国の方の日常生活を支えるのは各自治体になります。多文化共生の観点から具体的な取り組みは。

答弁：新たな取り組みとして「多文化推進サポーター」の交流会を実施しました。サポーター同士が横断的な関係を築けるような取り組みが、将来的に外国人市民をサポートする組織を創出するきっかけになればと考えており、今後も各種施策に取り組んでまいります。

## 障害者が地域で暮らすために

質問：①グループホームのごみ処理について、地域で生活をする場であるのに事業系ごみとしての処理となる今後の対応を。②大規模開発（積水化学工場跡地）の際、就労の場や施設等の設置など市として要望を。③「親亡き後」の支援は、当事者はもとより親御さんに対しても向けていく事が必要ではないか、今後大事な視点となると思うが取り組みはどうか。

答弁：①ごみの取り扱いについては今後、グループホームの運営者、担当課、資源リサイクル課も交えて協議していきたい。②今後、大規模な開発や商業施設の事前協議などの際に、障害のある方の住まいや働く場の確保など、地域での生活の基盤づくりが促進されるよう要望していきたい。③今後ご家族に対してもどのような支援ができるのかを考えていきたい。

訂正とお詫び申し上げます。

前回の「まめ通信」vol.39で年号の誤りがありました。

正しくは 2017 秋号 ⇒ 2018 秋号 ・ 平成 28 年 ⇒ 平成 30 年です。



# 防災対策の強化を！

平成30年12月第4回定例会一般質問での質問と答弁の要旨

## 雨天時の防災訓練について

質問：今年は雨天の為にいくつかの防災訓練が中止となった。災害時は晴れた昼間の暖かい日に起こるとは限らず、むしろ雨が降りやまず夜中であることなどと思います。内容を縮小してでも訓練を実施すべきではないか。

答弁：雨天時の訓練は経験することで、実際の災害発生時に慌てず行動ができ、必要となる装備品を確認できるなど多くの利点がある。課題もあることから、自主防災組織や施設の管理者等と、その都度協議してまいります。



## 避難所運営の強化について

質問：9月に提案した「避難所開設キット」の導入について、視察などどう検討したのか。また防災倉庫に何がどこにあるのか誰でも一目で分かるように工夫が必要ではないか。

答弁：地域の方々のご意見を伺いながら、今後、先進自治体を参考に整備に向け検討したい。防災倉庫内の見取り図等の作成についても、避難所開設キットの整備に合わせ検討してまいります。また備蓄品の箱に品目等を表示することは、備蓄品の整理に合わせ順次実施します。



12月定例会に初めてという方もいて多くの方が傍聴に来てくださいました

# 防災ぶち情報！

災害時のトイレは、備えが「重要」です！

## トイレに水を流しては「絶対ダメ！」

地震によって排水管が破損詰まると、トイレを使った際に1階など下層階で汚水が逆流し、あふれ出ることがある。安全確認が終わるまでは、トイレの水を絶対に流さない事が重要です。発災から1週間くらいは、自分たちで乗り切るための備えをしておきましょう。災害時はウィルス・細菌がこわい！手洗いと手指消毒をしっかりする。

インフラの復旧予想日数  
(埼玉県地震被害想定調査報告書)  
電気：6日  
水道：30日  
下水道：30日

## 遠藤 光博 プロフィール

朝霞市議会議員 2期 福島県出身 53歳  
総務常任委員会 委員長 (前 民生常任委員会委員長)  
防災士、朝霞市地域防災アドバイザー



日頃の活動の様子や市の情報など毎日発信しています

ホームページ



Facebook



LINE



Twitter

